

2006年3月期中間決算説明資料

【目次】	<ページ>
05年度中間決算概要	1-2
ATMネットワークの展開状況	3
ATM利用提携の状況	4
ATMの利用促進策	5
ATMの利用状況	6
普通預金口座(個人)の状況	7
05年度下期の取組み	8-10
社名変更	11
ご参考	12

2005.11.4

05年度中間決算概要(その1)

当中間期(開業4年半)において累損一掃実現。初めての法人税計上。
ATM設置台数(4月に1万台突破)、利用件数の増加により、
経常収益・経常利益はともに前年同期比大幅増加。
当期純利益は法人税等及び法人税等調整額の計上から前年同期比微減。

損益状況

単位:億円 (単位未満は切り捨て表示)

*:正確には「中間」純利益

	05年度 中間期		01年度	02年度	03年度	04年度	05年度 見通し
		前年同期					
経常収益	309	223	19	115	291	479	639
経常費用	211	179	140	197	260	378	478
経常利益	97	43	121	81	30	100	161
特別損益	0	0	-	0	1	1	26
法人税等及び 法人税等調整額	37	21	-	-	21	9	52
当期純利益	* 60	* 64	121	81	50	108	82
期末ATM設置台数	10,583台	9,373台	3,657台	5,250台	7,804台	9,981台	約 11,500台
期間総利用件数 (入金・出金・振込件数の合計)	165百万件	119百万件	14百万件	72百万件	158百万件	257百万件	約 340百万件

- 1 特別損益の05年度見通しは、勘定系システムの更改に伴う現行勘定系システムの除却損17億円と、05年度下期発生する社名変更にかかる費用9億円を合計したものの。
- 2 法人税等及び法人税等調整額の05年度見通しは、法人税等調整額の税効果会計における繰越欠損金等にかかる繰延税金資産の取崩しのほか、法人税等を合計したものの。
- 3 当期純利益の05年度見通しは、1による特別損失が生じる見込みのため、前年度比減少となるもの。

05年度中間決算概要(その2)

当中間期において累損一掃し、利益剰余金積上げ。

財務状況

単位:億円 (単位未満は切り捨て表示)

()内は05年3月末との差異

貸借対照表(05年9月末)

現金 2,143 (+353)		預金(個人) 444 (+44)		総負債 2,721 (+154)	
		預金(法人) 1,272 (+426)			譲渡性預金 321 (329)
					社債 150
					長期借入金 400
		預け金 474 (143)			ATM仮受金等その他負債 133(+13)
有価証券 220 (40)		資本金 610		株主資本 625 (+60)	
ATM仮払金等 374 (+62)		利益剰余金 15 (+60)			
ソフトウェア 121 (+6) ソフトウェア仮勘定含む		[前期繰越損失 45] [当期純利益 + 60]			
繰延税金資産 5 (25)	総資産 3,346 (+213)	総負債+株主資本 3,346 (+213)			
動産不動産 7 (+1)					
貸倒引当金 0.5 (+0.1)					

自己資本比率(国内基準)

222.28%

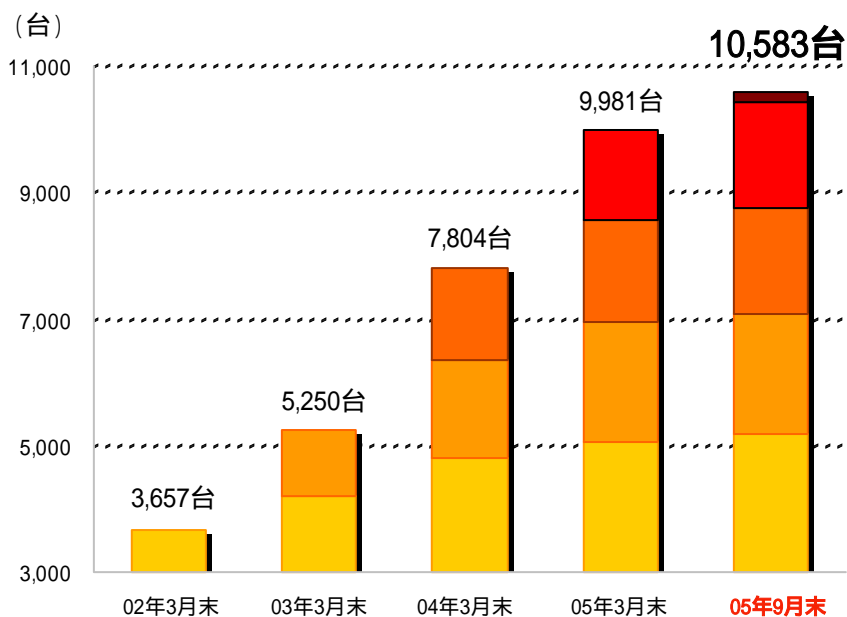
(速報ベース)

(同 05年3月末 182.39%)

ATMネットワークの展開状況

宮崎県・山梨県への新規展開。ATM設置地域は26都道府県に拡大。
ATM台数は9月末時点で10,583台。

ATM設置台数推移と設置地域



- 05年度上期設置開始地域
- 04年度設置開始地域
- 03年度設置開始地域
- 02年度設置開始地域
- 01年度設置開始地域

【店舗形態別設置台数(05年9月末)】 (台)

セブン-イレブン	10,307
イトーヨーカドー	243
本店 他	33
合計	10,583

【地域別設置状況】 ()内は05年度上期増加台数

	都道府県	設置開始月	ATM設置台数
01年度 設置開始地域	東京都	01年 5月	1,466
	静岡県	01年 6月	458
	埼玉県	01年 6月	812
	大阪府	01年 7月	465
	兵庫県	01年 7月	337
	神奈川県	02年 1月	867
	千葉県	02年 2月	764
02年度 設置開始地域	栃木県	02年 5月	333
	愛知県	02年 12月	332
	京都府	02年 12月	149
	長野県	03年 2月	327
	滋賀県	03年 2月	138
	福岡県	03年 3月	640
03年度 設置開始地域	茨城県	03年 7月	473
	広島県	03年 9月	367
	福島県	03年 10月	361
	新潟県	04年 3月	310
	熊本県	04年 3月	152
04年度 設置開始地域	山形県	04年 4月	119
	北海道	04年 5月	827
	山口県	04年 7月	196
	群馬県	04年 7月	329
	長崎県	04年 10月	51
	岡山県	04年 12月	170
05年度上期 設置開始地域	宮崎県	05年 4月	112
	山梨県	05年 8月	28
合計	26都道府県		10,583 (+602)

ATM利用提携の状況

銀行7行、信用金庫18庫、その他金融機関7社と新規提携。
提携金融機関は9月末時点で501社。

提携金融機関一覧

		05年3月末 提携先数	05年度上期 新規提携先	05年9月末 提携先数
提携 金融 機関	銀行	49行	新銀行東京 宮崎銀行 ジャパンネット銀行 長野銀行 西京銀行 京葉銀行 宮崎太陽銀行	56 行
	信用金庫	241庫	帯広信用金庫【北海道】 伊万里信用金庫【佐賀県】 高鍋信用金庫【宮崎県】 ほか15信用金庫	259 庫
	信用組合	117組合	-	117 組合
	労働金庫	13庫	-	13 庫
	公 社	1社	-	1 社
	証券会社	2社	イー・トレード証券 マネックス・ビーンズ証券 東洋証券	5 社
	生命保険会社	5社	富国生命	6 社
	クレジットカード会社 信販会社 消費者金融会社	41社	アットローン 日専連 クオークローン	44 社
	合 計	469社	32社	501 社
BANCS加盟都市銀行		1行	-	1 行

05年3月末時点での提携信用金庫数は241庫。その後の追加提携により、05年9月末時点での提携先数は259庫。

ATMの利用促進策

各地域において積極的なプロモーション活動を実施。

取組み事例

【新聞広告】 各地域 (05年4月)



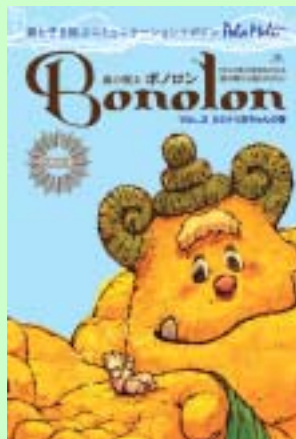
【交通広告(ラッピングバス)】

宮崎県 (05年4月～9月)



【雑誌(フリーペーパー)】 セブン・イレブン店舗にて配布
全地域 (05年8月)

(表紙)



【TVCM】 全地域(05年9月)

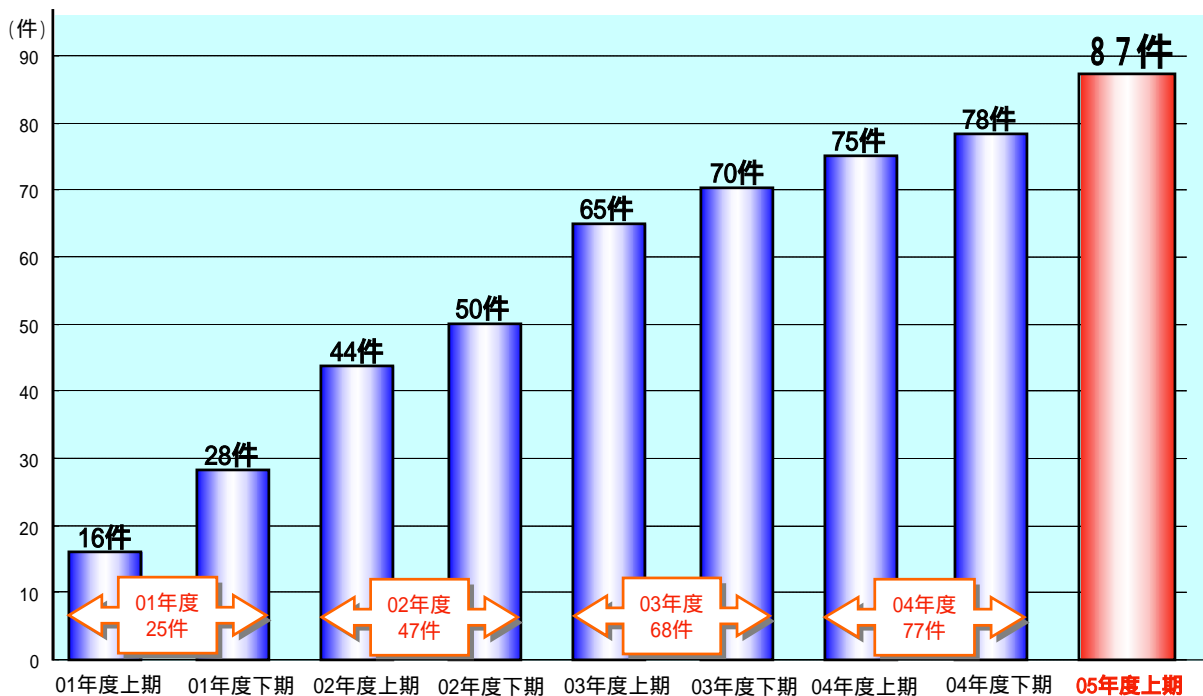


ATMの利用状況

平均利用件数は全ATM設置地域で増加。
05年度上期の平均件数は87件(04年度下期比 +9件)。

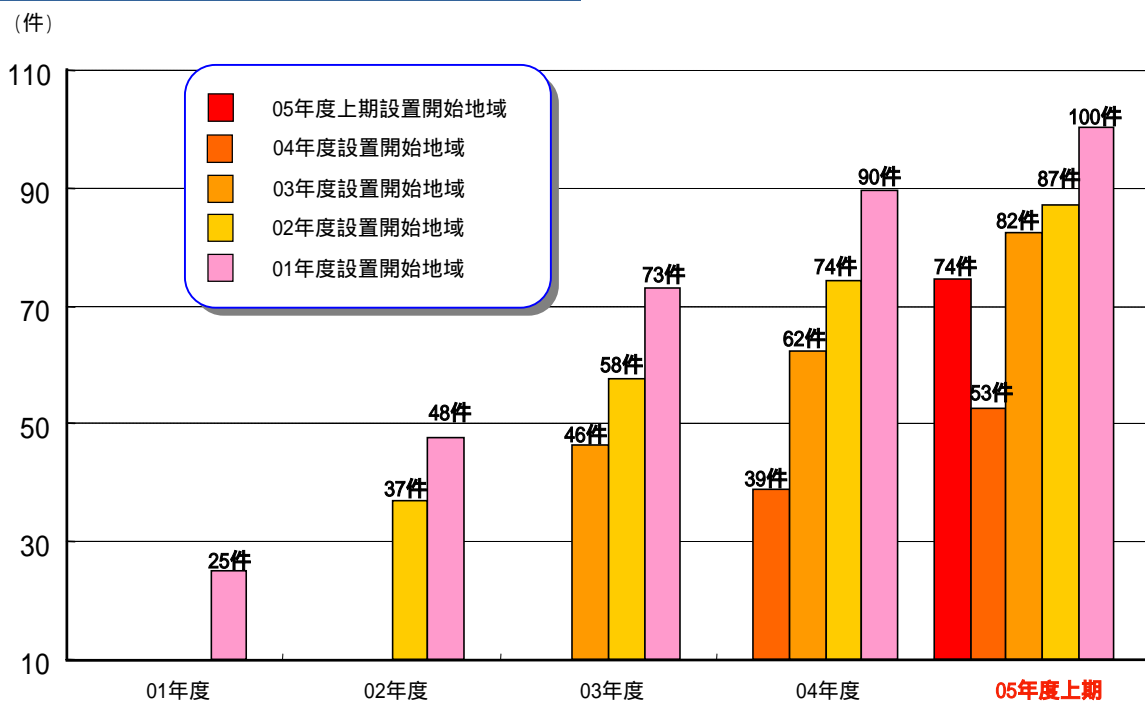
1日1台あたり期間平均利用件数の推移

(入金・出金・振込件数の合計)



設置年度別の地域平均利用件数推移

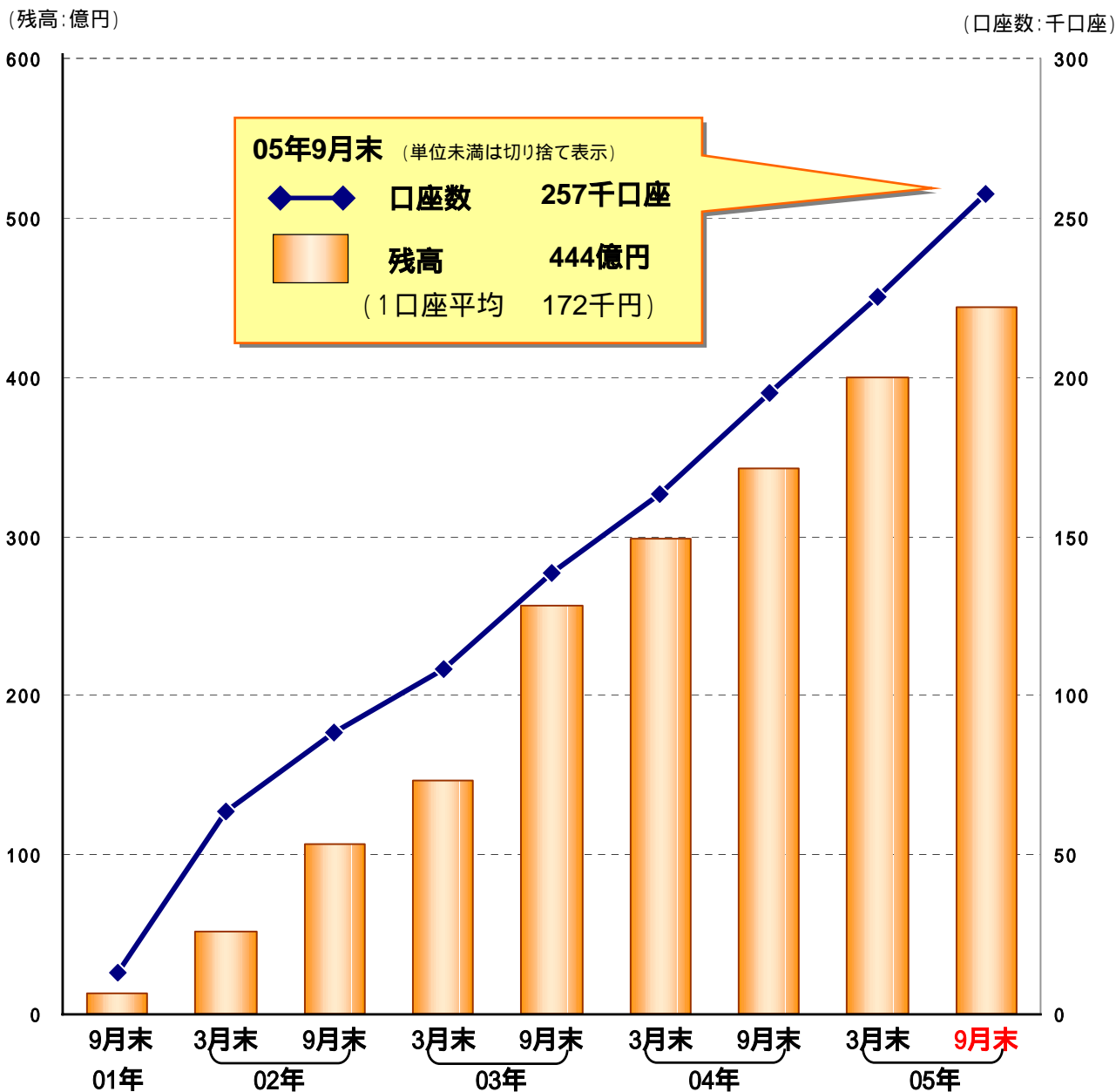
(入金・出金・振込件数の合計)



普通預金口座(個人)の状況

普通預金は口座数・残高ともに増加。

口座数・残高の推移



05年度下期の取組み(その1)

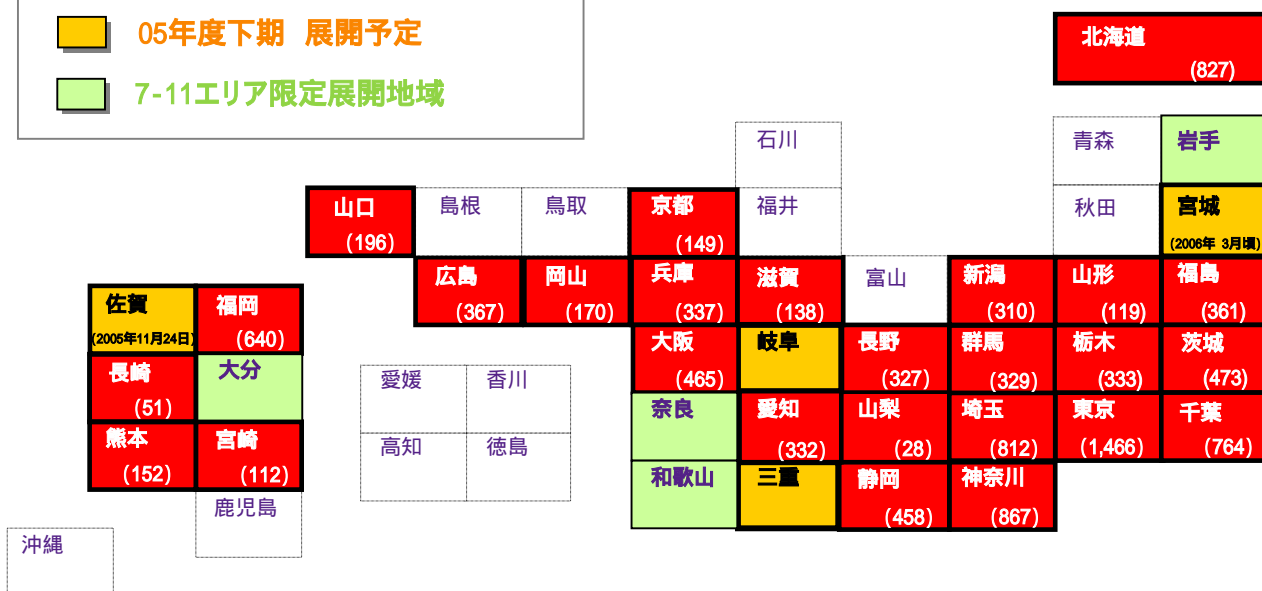
ATM事業基盤の拡充。

地域展開の拡大と提携先拡充

ATM既設置エリア
(26都道府県、05年9月末10,583台)

05年度下期 展開予定

7-11エリア限定展開地域



		提携先 (時期) 【新規展開地域名】
05年度下期	新地域展開を伴う提携	佐賀銀行 } 【佐賀県】(05年11月24日) 佐賀共栄銀行 } 七十七銀行 【宮城県】(06年3月頃)
	既展開地域等における提携	シティックスカード (05年10月17日開始) JAバンク (05年11月21日) JFマリンバンク (05年11月21日) みなと銀行 (06年1月中旬を目途に) 百五銀行 (06年2月頃を目途に) 大光銀行 (06年春)
06年度以降		みずほ銀行 (06年夏) 第三銀行 (06年夏を目途に)

06年3月末 ATM台数 見込み
約11,500台
(05年3月末 9,981台)

05年度 年間総利用件数 見込み
約340百万件
(04年度 257百万件)

05年度 1日1台あたり平均件数 見込み
約88件
(04年度 77件)

既公表(05年11月4日現在)

05年度下期の取組み(その2)

確固たる信頼確保のためのインフラ整備。

ATM中継システムの2センター化

災害時に備え、一方のセンターで全ATMの稼働を継続できるよう、大阪システム運用センターを設置し、バックアップ機能を順次拡充。

新型ATMの展開

7月から設置開始。05年度下期に静岡県、東京都は設置完了予定。また、09年を目途に全地域で新型ATMに設置完了予定。

【新型ATMの主な特徴】

- ・ スピード、容量アップ、券種別カセット対応
- ・ セカンドディスプレイの搭載
- ・ 新サービス用の柔軟な拡張性確保
- ・ プライバシー保護機能の向上
- ・ セキュリティレベルの一層の向上
- ・ 顧客ニーズに対応したきめ細やかなATM画面の設定

< 新型ATM >



ICカード対応準備

06年4月を目途に全ATMにICカード対応機能を搭載。各提携先と調整の上、06年4月よりサービス開始予定。

05年度下期の取組み(その3)

バンキング事業拡充への着実な準備。

有人店舗の追加出店

イトーヨーカドー蘇我店への出店(4月)に続き、05年度下期に4店舗 追加出店予定。

千葉県八千代市、埼玉県川口市、江戸川区葛西、葛飾区亀有

< 有人店舗でのセミナー実施風景 >



バンキングシステム更改

06年春に更改予定。定期預金、個人向けローンを取扱い。

セキュリティ確保

10月11日の社名変更と同時に当社キャッシュカードをICカード化。

< セブン銀行ICキャッシュカード >



社名変更

10月11日よりアイワイバンク銀行からセブン銀行へ社名変更。

社名変更の目的

- だれにもわかりやすく、簡単、スピーディなサービスの提供をめざす姿勢を反映し、社名変更を第二の創業と捉え、お客さまのニーズに応え続ける銀行として常に進化できるよう努力する。
- 事業展開の特徴を想起させ、お客さまにとってよなじみやすい「セブン」という名称を社名にすることにより、グループ呼称（セブン&アイHLDGS.）との親和性とさらなる認知度向上を図る。

< セブン - イレブン店頭看板の差替え >



< ATM下扉の差替え >



1日で、全国1万店以上のATMロゴや看板を一斉切換え完了。

【新ロゴマーク】



社名変更告知

< 新聞広告 > (全地域)



< 交通広告 > (北海道・首都圏・関西・福岡)



< テレビCM > (全地域)



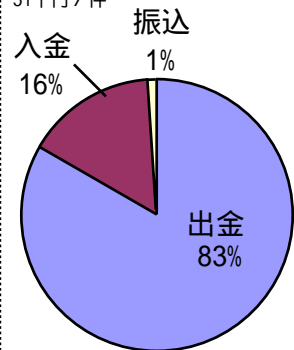
ご参考 セブン銀行(旧社名 アイワイバンク銀行)

サービス別 利用件数内訳

【全体】(セブン銀行除く)

04年度下期

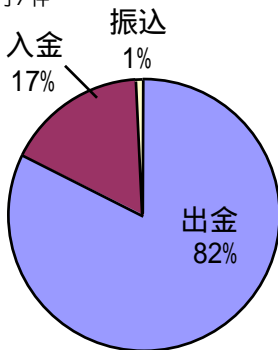
1件あたり入金額
51千円/件



1件あたり出金額
36千円/件

05年度上期

1件あたり入金額
51千円/件



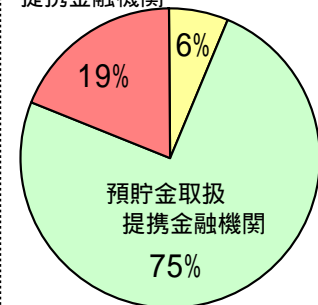
1件あたり出金額
35千円/件

業態別 利用件数内訳

(入金・出金・振込件数の合計)

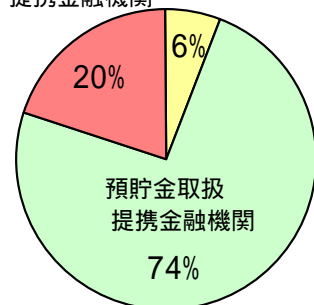
04年度下期

その他
提携金融機関



05年度上期

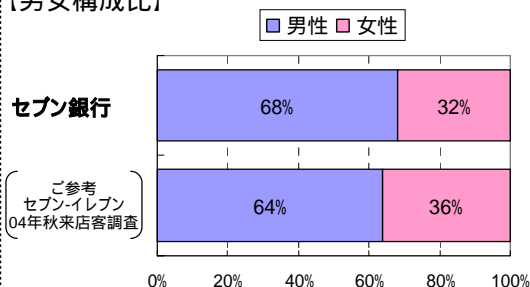
その他
提携金融機関



セブン銀行 普通預金口座(個人)内訳

05年9月末

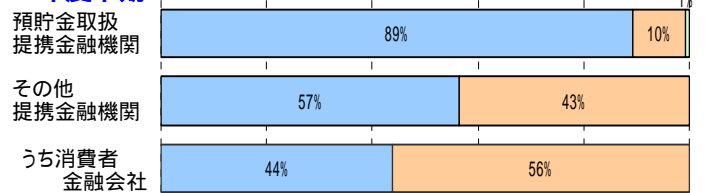
【男女構成比】



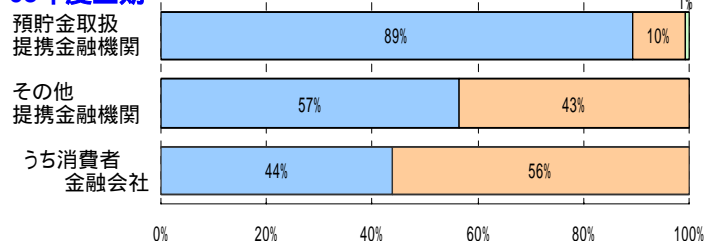
預貯金取扱提携金融機関・・・提携銀行・信金・信組・労金・郵貯 (セブン銀行除く)
その他提携金融機関・・・証券・生保・クレジット・信販・消費者金融

【業態別】

04年度下期



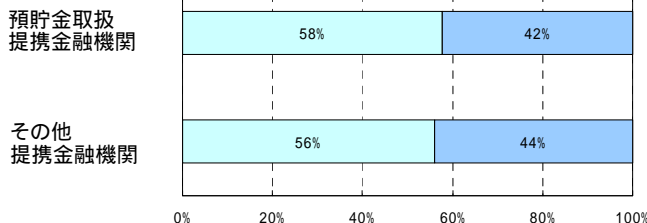
05年度上期



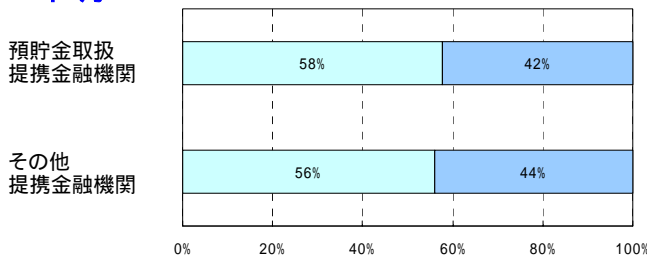
業態別 時間帯別利用件数内訳

(入金・出金・振込件数の合計)

04年9月



05年9月



05年9月末

【年代構成比】

